

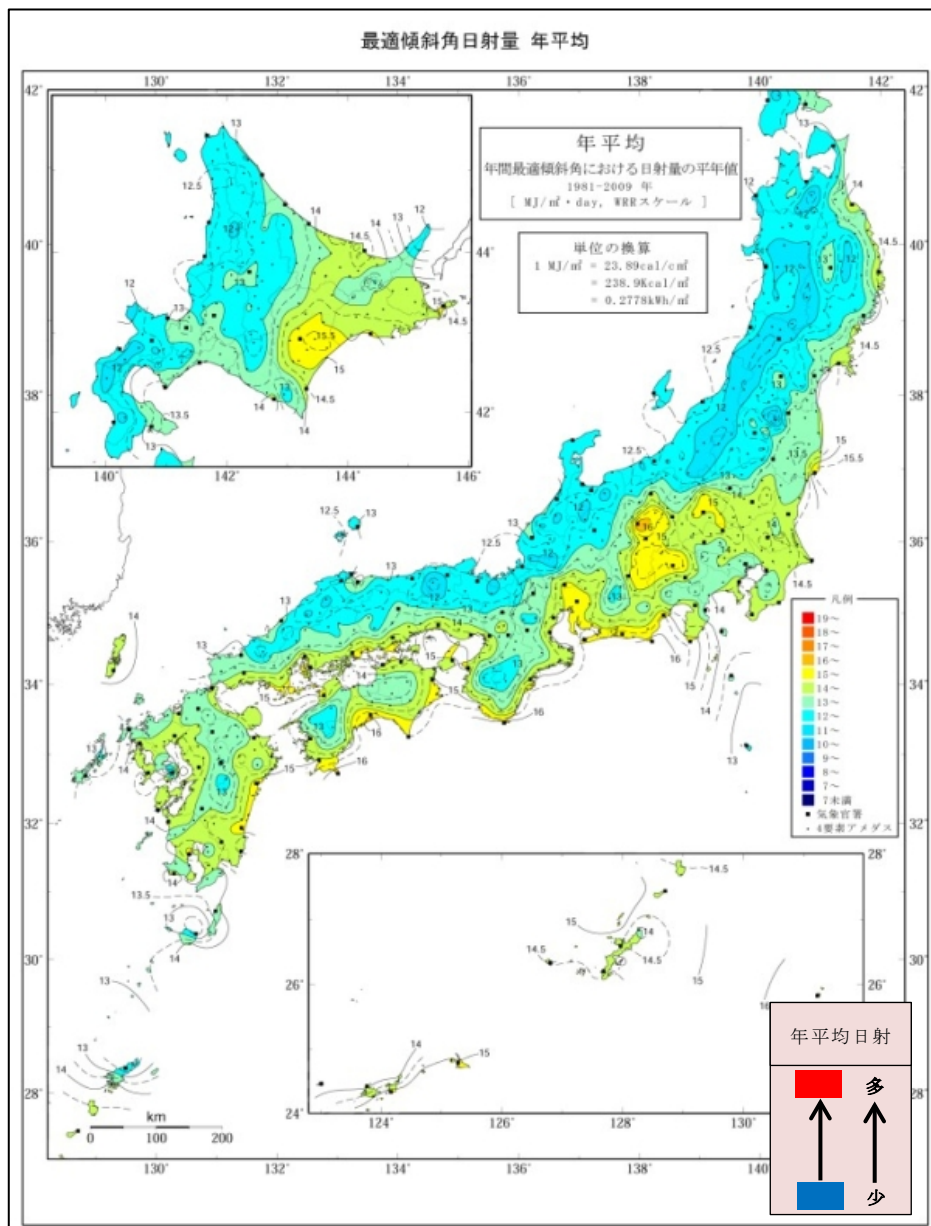
## ●太陽光発電エネルギー

### 【経緯】

地球温暖化防止・温室効果ガス排出量の削減は政府をあげての課題となっており、再生可能エネルギーの導入と低炭素化社会の実現が求められています。また、東日本大震災を契機に電力の安定供給、非常時の電源確保という面からも、再生可能エネルギー導入への期待は高まっております。

再生可能エネルギーの一つとして注目されている太陽光発電は、太陽光パネルで太陽エネルギーを電気エネルギーに変換して利用する発電方法です。

東北地方は年間最適傾斜角における日射量の平均値分布図を見ると、太平洋沿岸域で日射量が多いことがわかります。



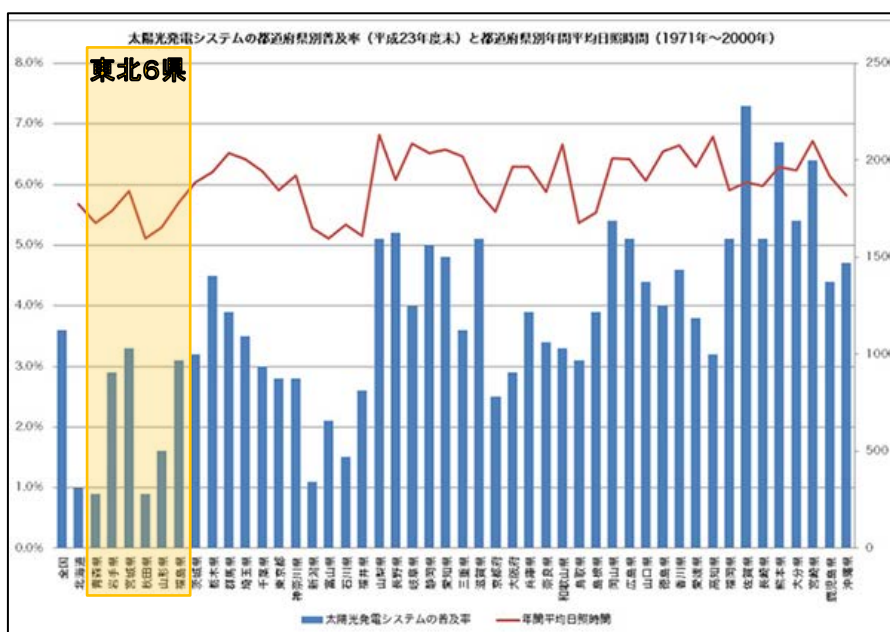
年間最適傾斜角における日射量の平均値分布

## 【活動成果・状況】

2011年度末で、我が国には約490万kWの太陽光発電が導入されています。そのうち約8割が住宅用で、工場やビル等の非住宅への設置は2割程度です。単年度の導入量で見ると、政府の住宅用太陽光発電設備に対する補助制度が一時打ち切られた2005年をピークに伸び悩んでいましたが、2009年1月に補助制度が再度導入され、加えて地方自治体による独自の補助制度も合わせると設置費用が低減したことを受けて、2009年度は増加に転じました。これには、2009年11月に、太陽光発電システムで発電した電気のうち、自家消費せずに余った電気（余剰電力）を通常の電気料金のほぼ2倍の価格で電力会社が買い取る制度（余剰電力買取制度）が開始されたことも大きく寄与したと考えられます。

2012年7月に固定価格買取制度がスタートし、一層の導入拡大が見込まれています。住宅用太陽光発電の着実な導入拡大に加え、今後は特に非住宅用部門での導入が進むと見られており、いわゆる地上設置型のメガソーラーだけでなく、数十～数百kWの設備の導入も着実に拡大していくと見られています。

東北6県の太陽光発電システムの普及率を見ると、他の都道府県と比べて普及率が低くなっています。



太陽光発電システムの都道府県別普及率

※ (普及率) = (導入件数) / (一戸建て件数) として計算

※ 太陽光発電システムの導入件数は一般社団法人新エネルギー導入促進協議会・一般社団法人太陽光発電協会(J-PEC)資料(2011年3月末)を参考に作成

※ 一戸建て件数は、総務省平成20年住宅・土地統計調査

※ 年間日照時間は国立天文台「理科年表」2000年次 都道府県別 平年年間日照時間を参考に作成

資源エネルギー庁HP <http://www.enecho.meti.go.jp/> (おひさまパワー! 太陽光発電より)

太陽光発電システムの総合情報サイト ECOSORA HP <http://ecosora.net/> (太陽光発電システムの普及率より)

新エネルギー・産業技術総合開発機構HP <http://www.nedo.go.jp/> (日射量データベース閲覧システム より)